

第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等

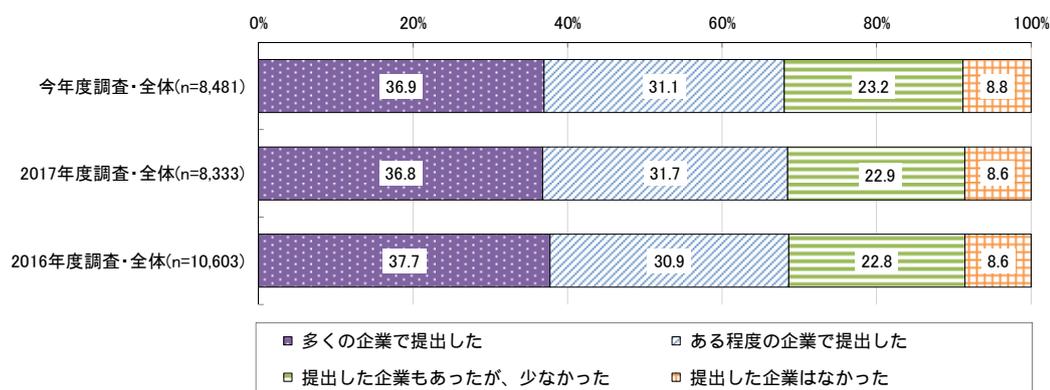
(1) 履修履歴(成績証明書など)の提出の状況

提出の状況

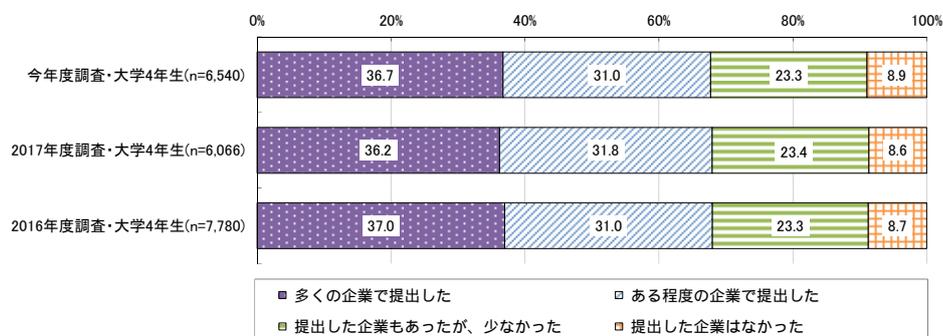
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約4割となっている。

これは、2016年度調査・2017年度調査とほぼ同様の結果となっている⁴⁵。

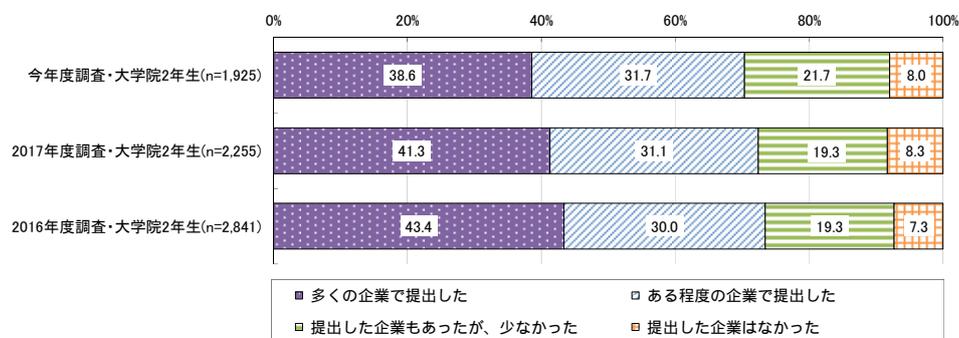
図表 4-1-1 履修履歴(成績証明書など)の提出の状況
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

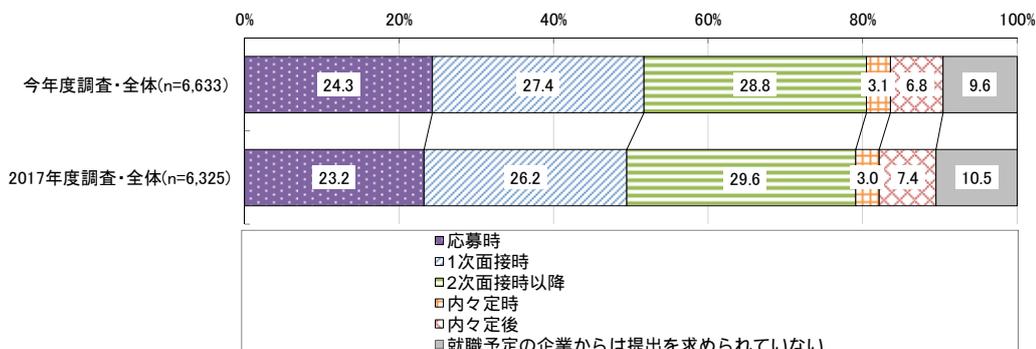


⁴⁵ 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

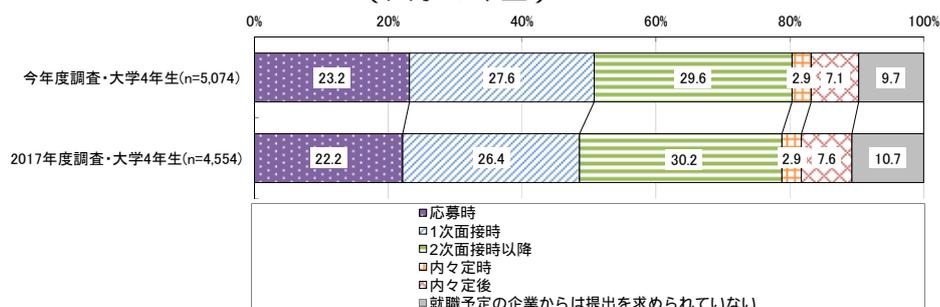
提出のタイミング

就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて、「2次面接時以降」の回答割合が約3割で最も高く、次いで「1次面接時」の回答割合が高くなっている。これは、2017年度調査とほぼ同様の結果となっている⁴⁶。

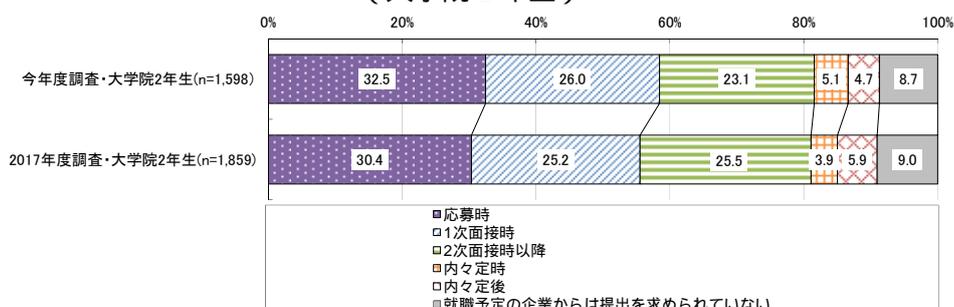
図表 4-1-2 就職予定の企業への履修履歴（成績証明書など）の提出のタイミング
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



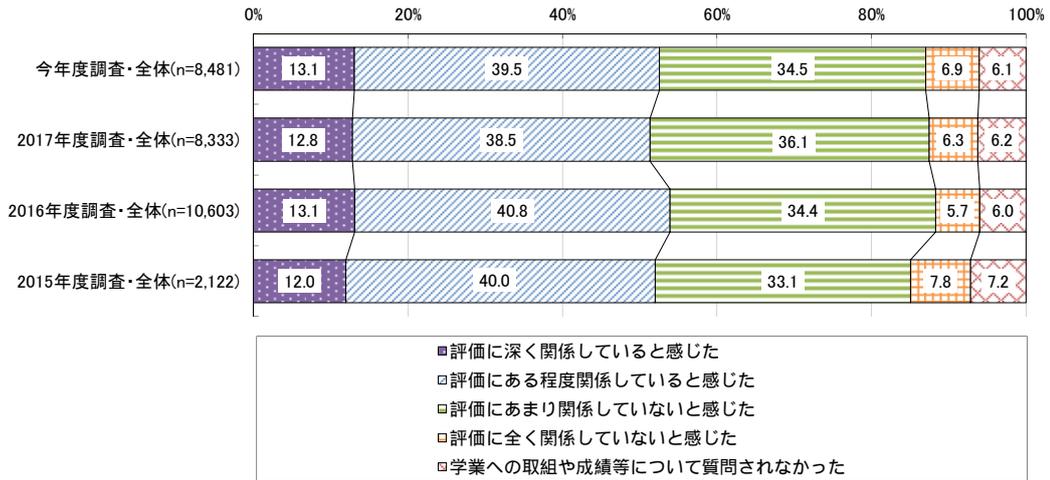
⁴⁶ 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

(2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

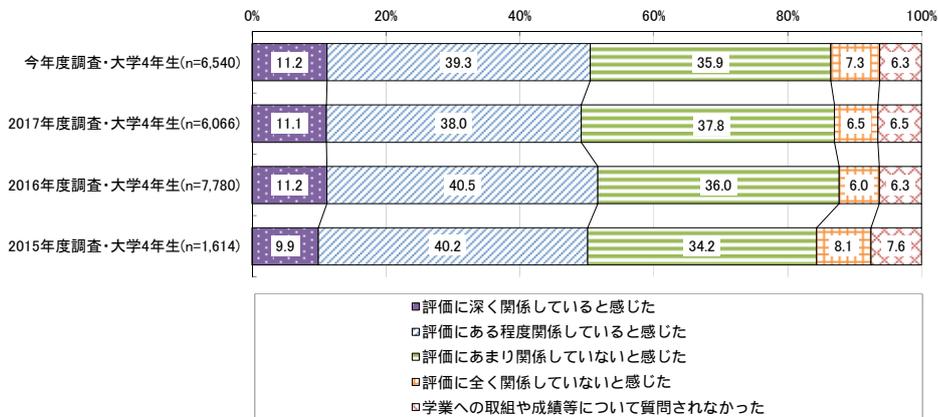
採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

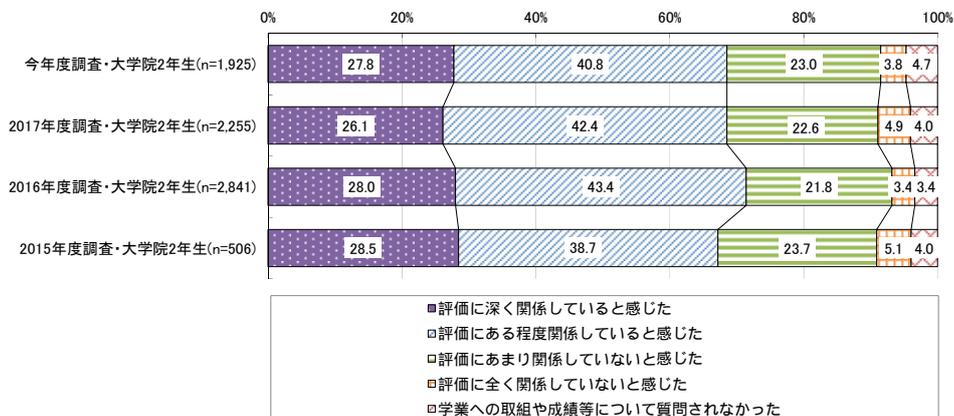
図表 4-2-1 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



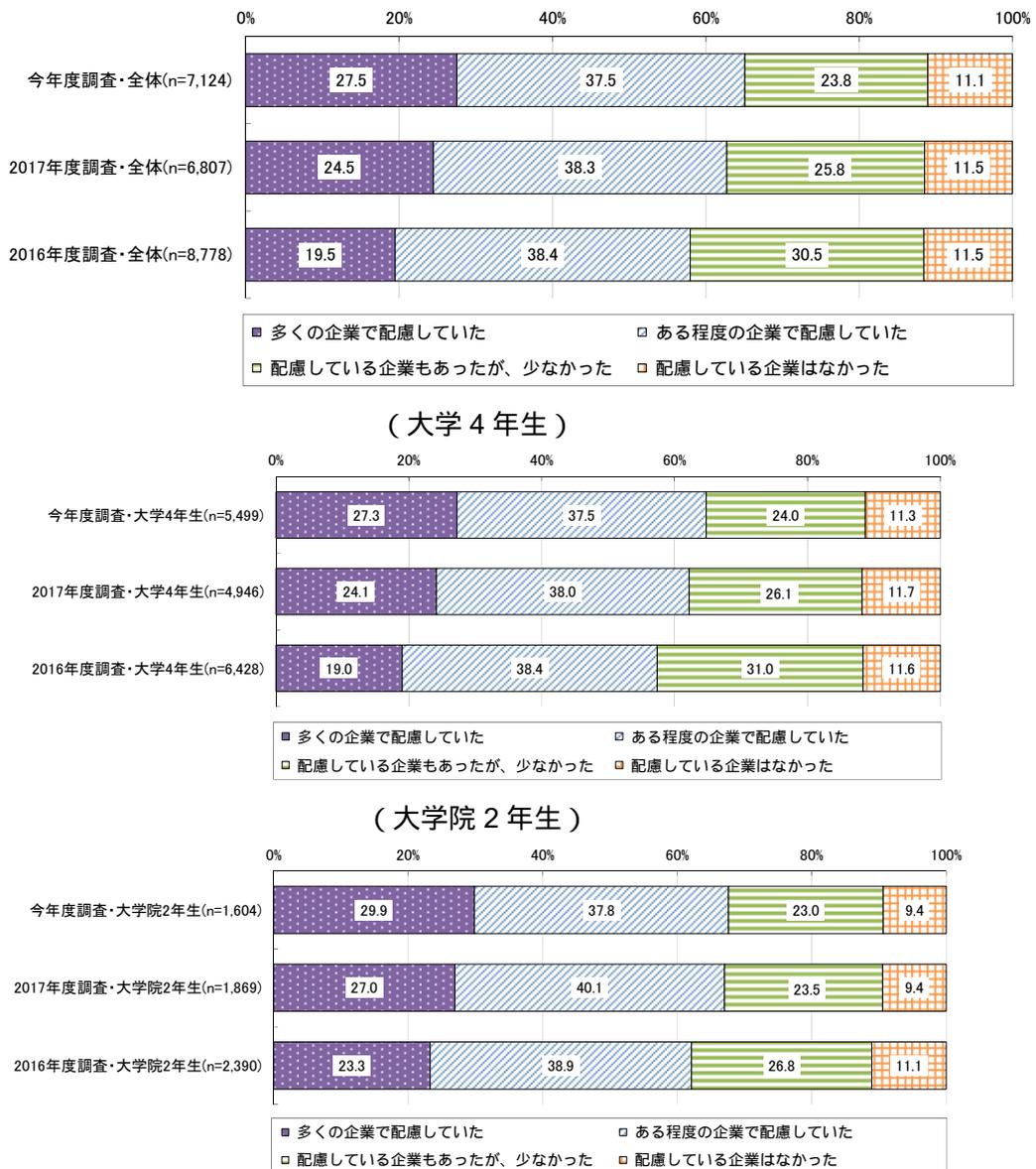
(3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

就職活動を行った企業において「説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったか」について、「よくわからない」と回答した者を除くと47、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が若干高くなっている48。

図表 4-3-1 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮の状況
(大学4年生・大学院2年生)



47 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

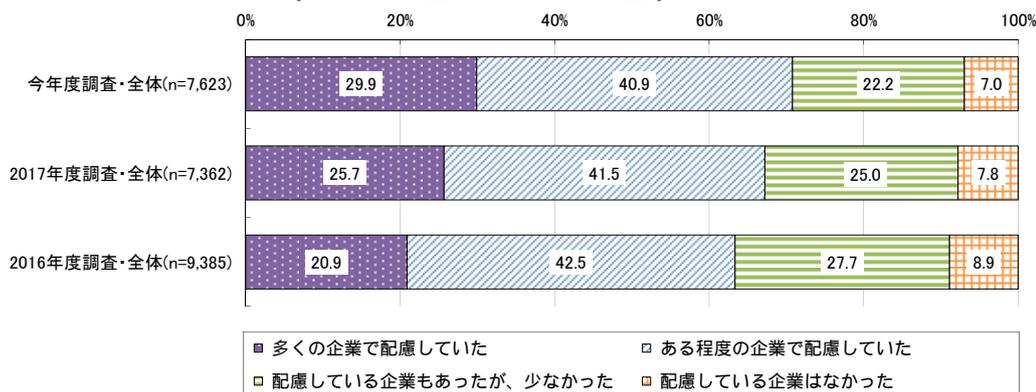
48 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

個別の面接日時等の設定にあたっての配慮

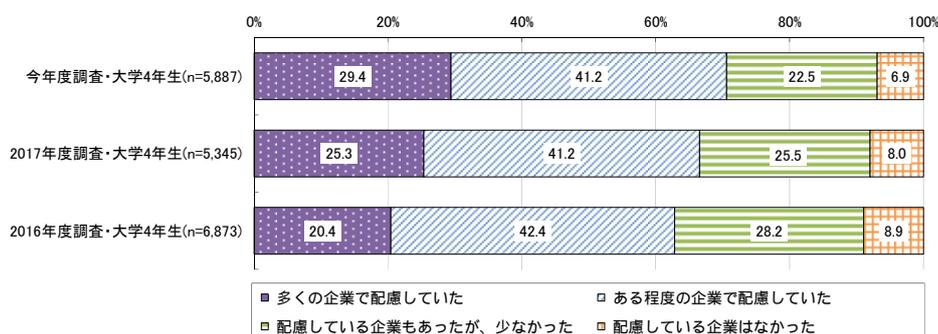
就職活動を行った企業において「個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったか」について、「よくわからない」と回答した者を除くと⁴⁹、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が若干高くなっている⁵⁰。

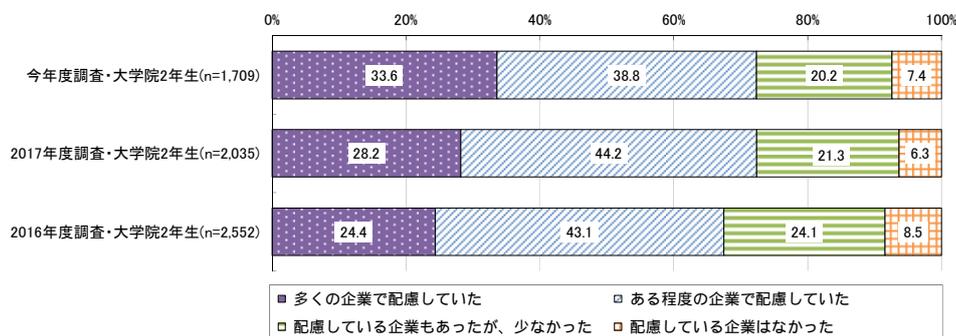
図表 4-3-2 個別の面接日時等の設定にあたっての配慮の状況
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



⁴⁹ 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

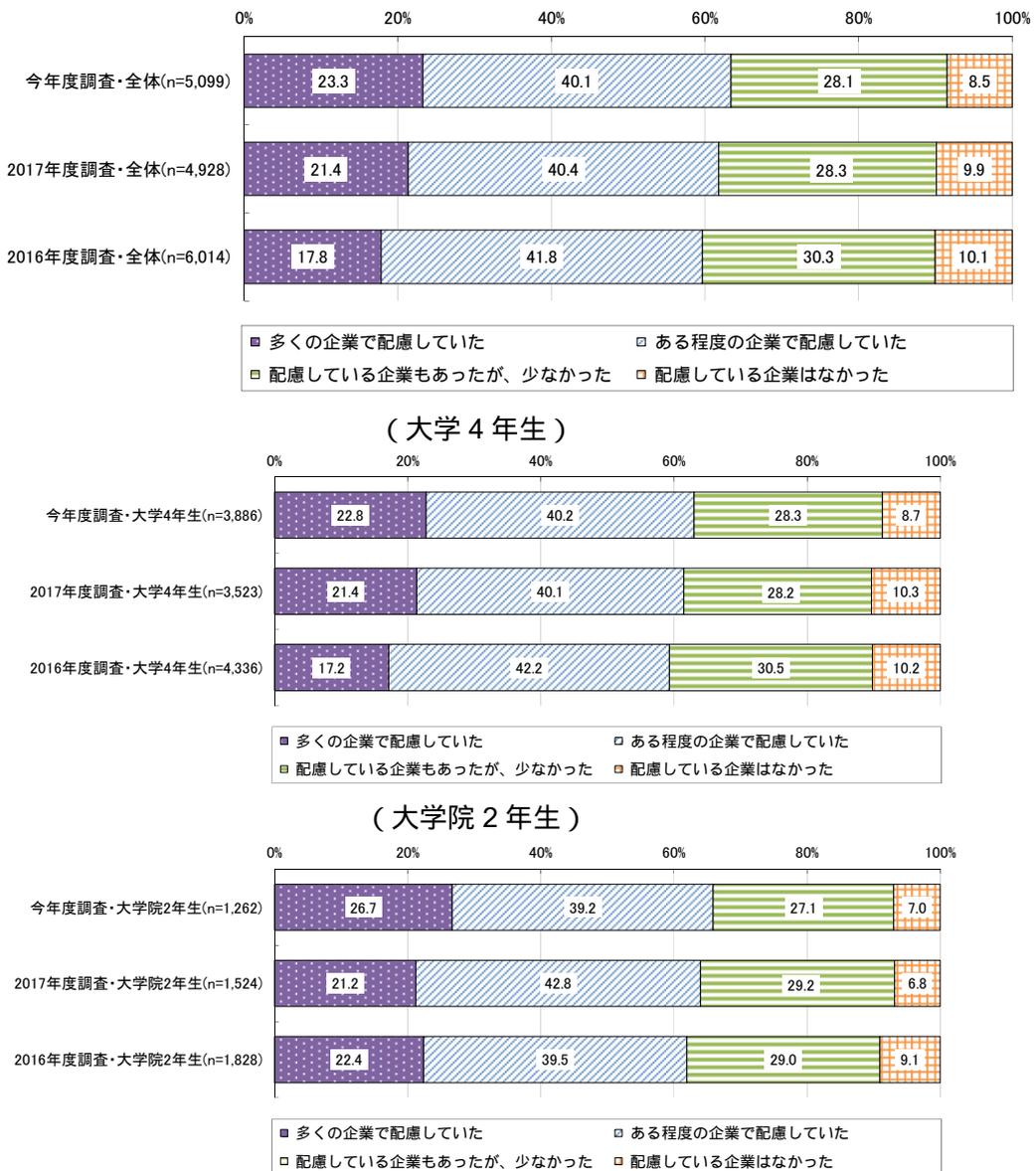
⁵⁰ 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

(4) 遠隔地への就職活動への配慮

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと⁵¹、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合が若干高くなっている⁵²。

図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況
(大学4年生・大学院2年生)



⁵¹ 「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問への回答で、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

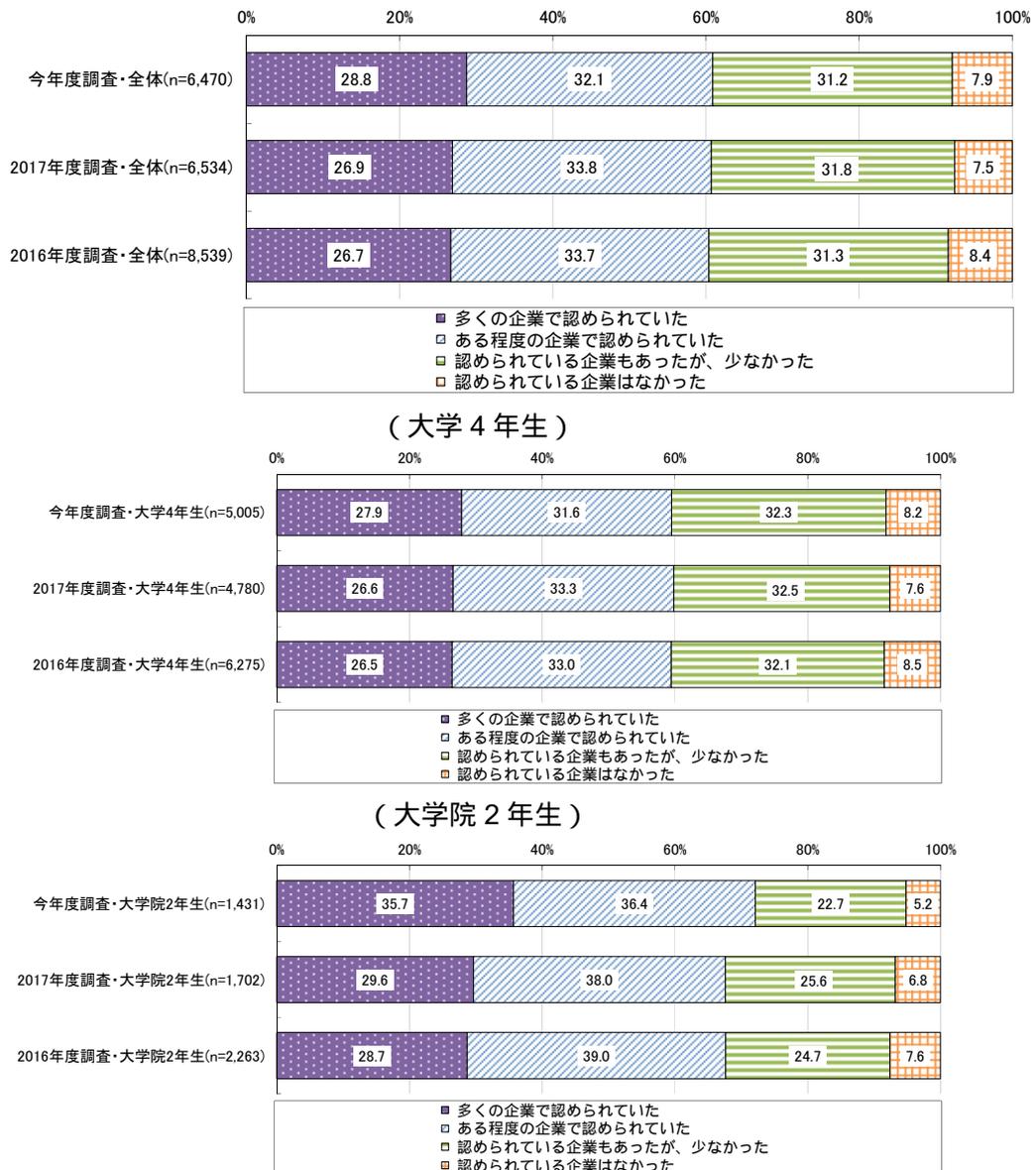
⁵² 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

(5) クールビズでの対応

面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと⁵³、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている⁵⁴。

図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況
(大学4年生・大学院2年生)



⁵³ 「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問への回答で、「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

⁵⁴ 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

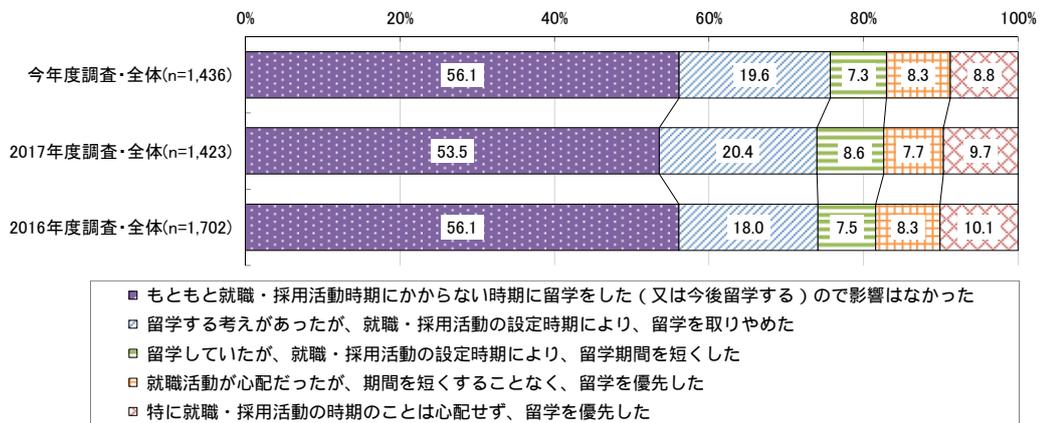
(6) 留学経験者への配慮

留学経験者及び留学を検討していた者の状況

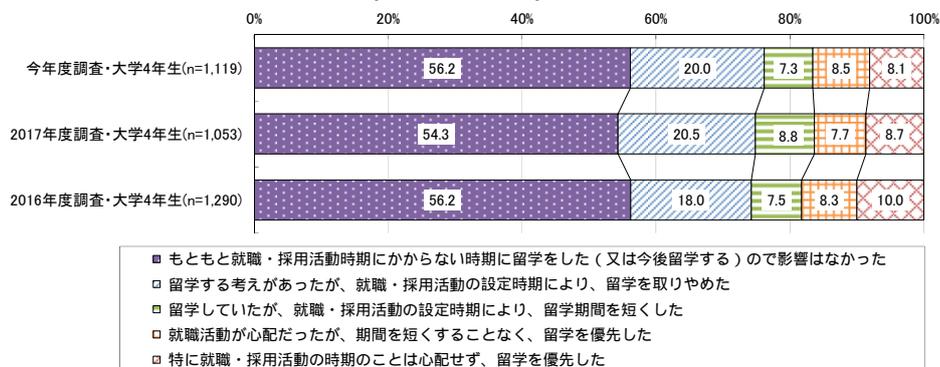
就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち⁵⁵、約6割は「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響がなかった」と回答している。一方、約2割が「留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた」と回答している。

これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている⁵⁶。

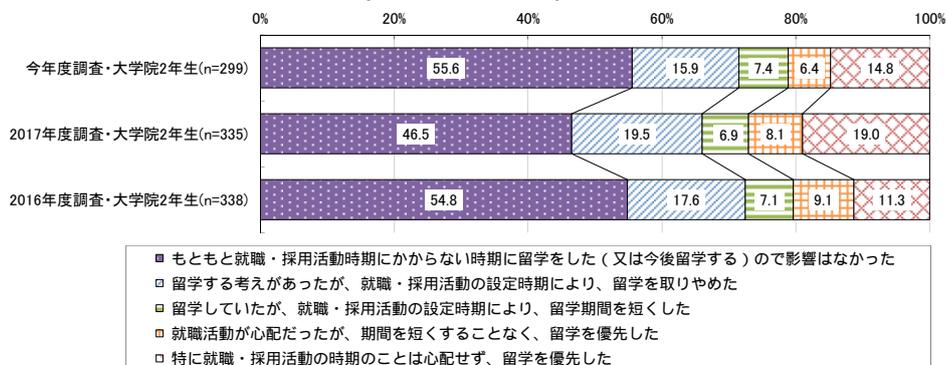
図表 4-6-1 留学経験者及び留学を検討していた者の状況
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



⁵⁵ 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問への回答で、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

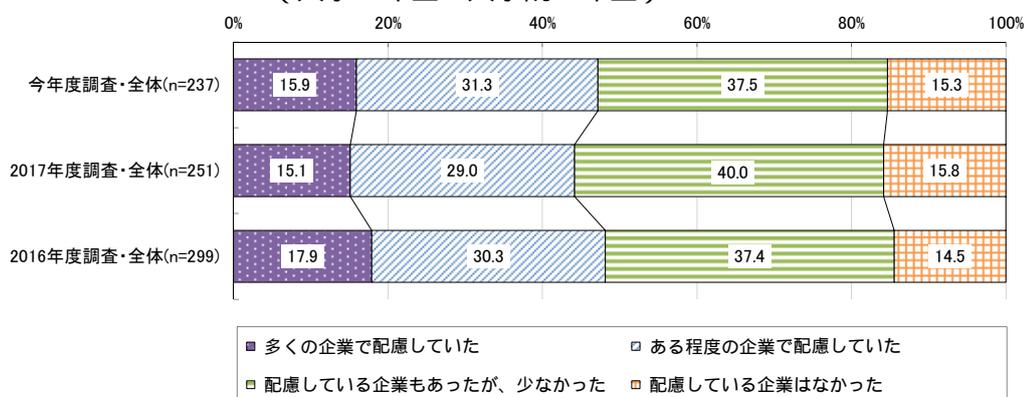
⁵⁶ 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

企業側から留学経験者に対する配慮の状況

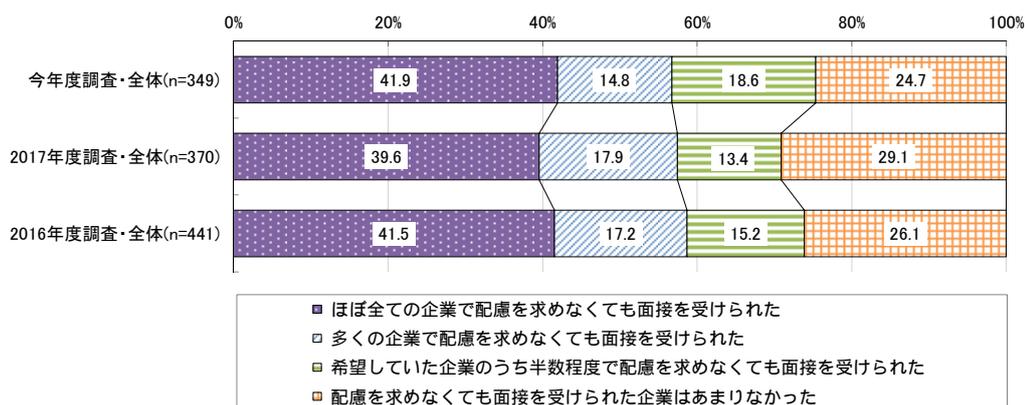
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者⁵⁷に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」の回答を除くと⁵⁸、約5割が「多くの企業で配慮していた」又は「ある程度の企業で配慮していた」と回答している⁵⁹。これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、又は留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼすべての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の回答割合が約4割で最も高くなっているが、「配慮を求めなくても面接を受けられた企業はあまりなかった」との割合も比較的高くなっている。これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

図表 4-6-2 留学経験者に対する企業側の配慮の状況
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-6-3 留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況
(大学4年生・大学院2年生)



⁵⁷ 「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

⁵⁸ 「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問への回答で、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

⁵⁹ 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

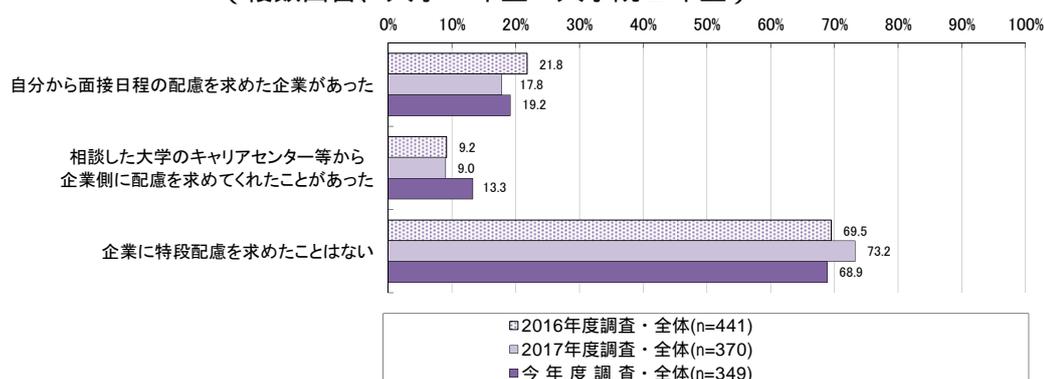
配慮を求めた際の対応等

留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」の回答が約2割、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」の回答が約1割となっている⁶⁰。

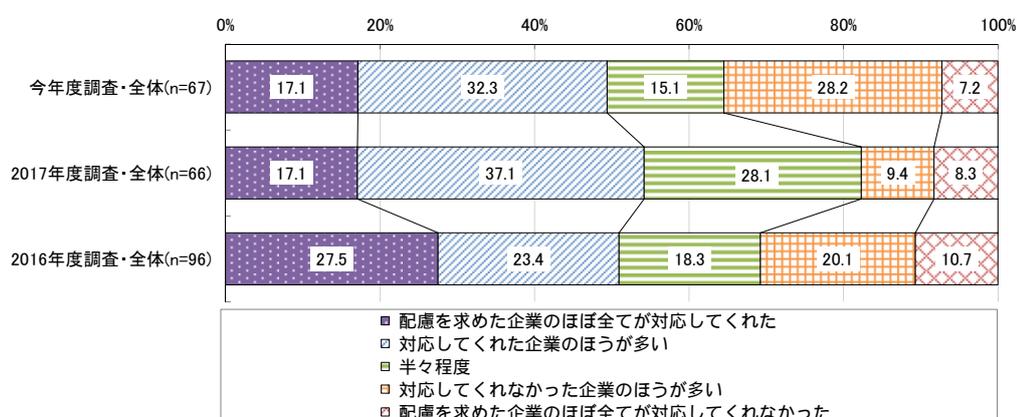
自分から、あるいは大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合の企業側の対応状況について、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合を合わせると、自分から配慮を求めた場合については約5割、大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合については約3割となっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答割合を合わせると約3割となっている。

図表 4-6-4 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか
(複数回答、大学4年生・大学院2年生)

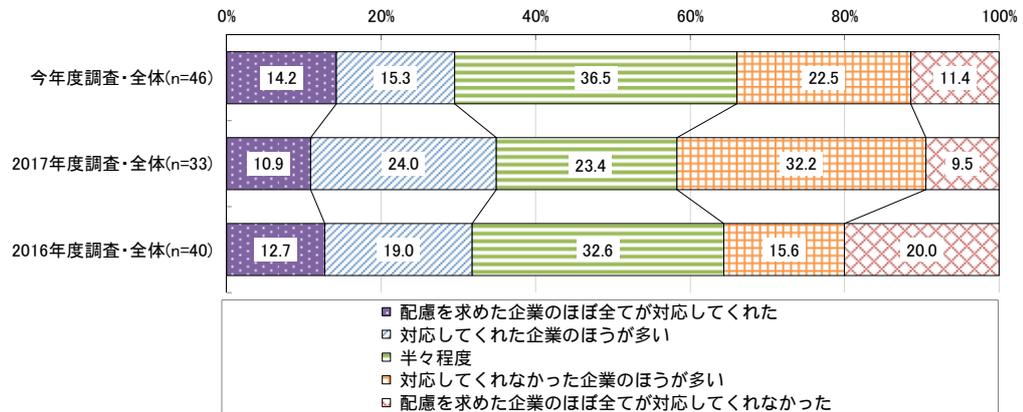


図表 4-6-5 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応(自分から配慮を求めた場合)
(大学4年生・大学院2年生)

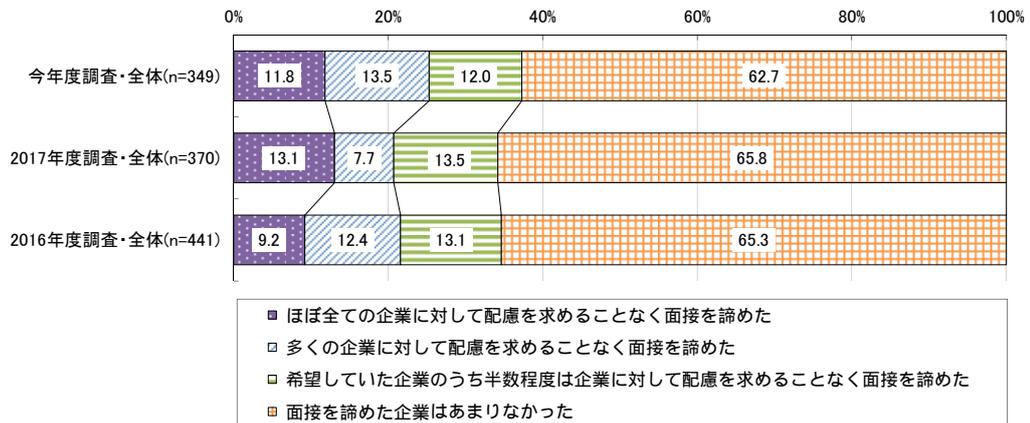


⁶⁰ 留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する設問について、2015年度調査では実施していない。

図表 4-6-6 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応(キャリアセンター等から配慮を求めた場合)
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



図表 4-6-7 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



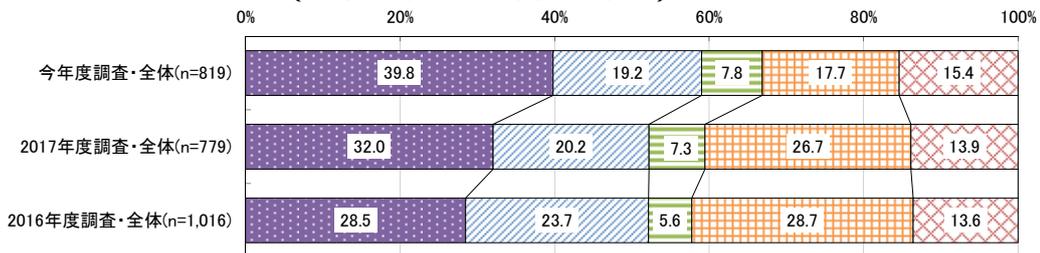
(7) 教育実習受講者への配慮

教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者の状況

就職・採用活動の設定時期により教育実習の予定等に影響があったかについて、教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者のうち⁶¹、「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」の回答割合が約4割と高くなっている。他方、約2割が「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた」と回答している。

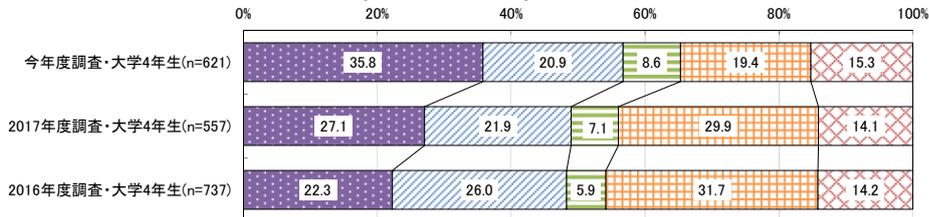
過年度調査と比較すると、今年度調査では「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」の回答割合が高くなっている⁶²。

図表 4-7-1 教育実習受講者及び教育実習受講を検討していた者の状況
(大学4年生・大学院2年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- 就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

(大学4年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- 就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

(大学院2年生)



- もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を取りやめた
- 教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の設定時期により、教育実習を延期した
- 就職活動が心配だったが、教育実習を優先した
- 特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した

⁶¹ 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、4年生または大学院2年生の前期における教育実習の予定等に影響はありましたか」との設問への回答で、「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受けていない」と回答した者は除いて集計した。

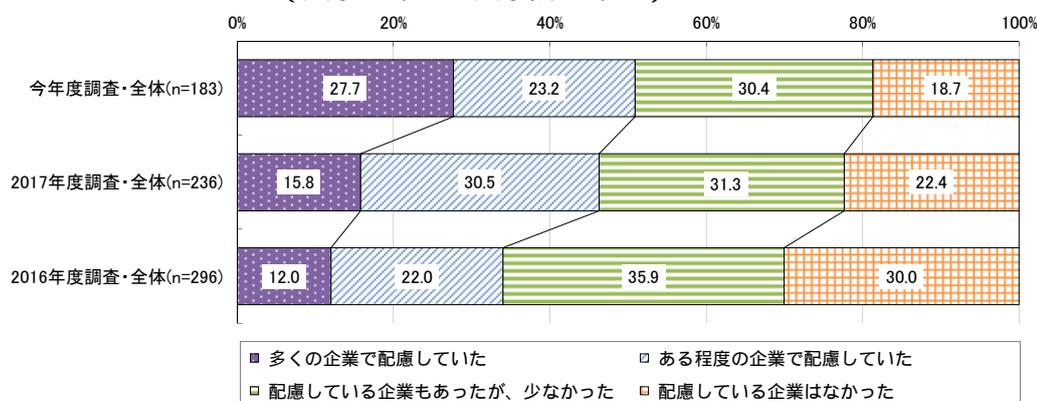
⁶² 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

企業側から教育実習受講者への配慮の状況

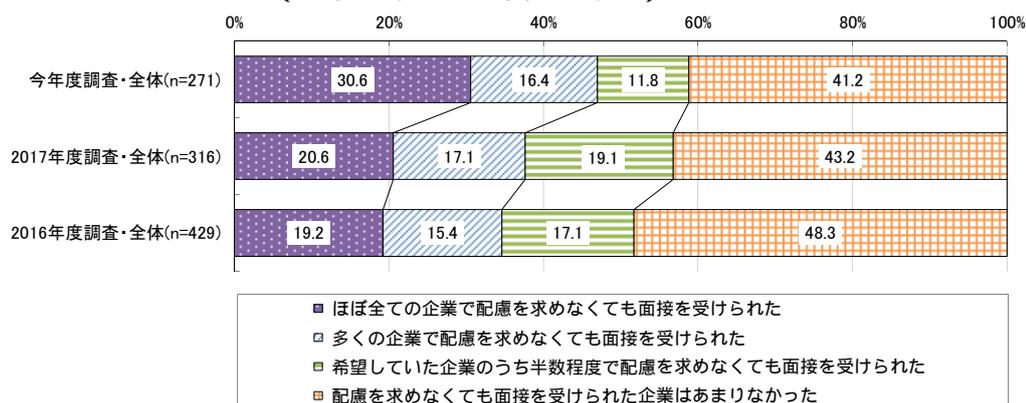
就職・採用活動期間中に実際に教育実習を受けていた者⁶³に関して、就職を希望した企業において、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮があったかについて、「わからない」の回答を除くと⁶⁴、約5割が「多くの企業で配慮していた」又は「ある程度の企業で配慮していた」と回答している⁶⁵。過年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が教育実習と重なっていなかった、又は教育実習受講者等のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の回答が約3割となっている。過年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が高くなっている。

図表 4-7-2 教育実習受講者に対する企業側の配慮の状況
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-7-3 教育実習受講者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況
(大学4年生・大学院2年生)



⁶³ 「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した。なお、教育実習受講者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

⁶⁴ 「あなたが就職を希望した企業は、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮していましたか」という設問への回答で、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

⁶⁵ 教育実習受講者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

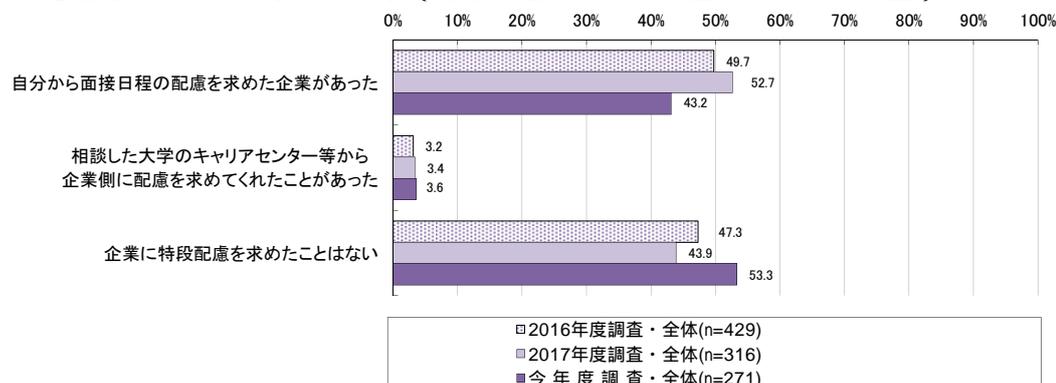
配慮を求めた際の対応等

教育実習と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」の回答が約 4 割となっている⁶⁶。

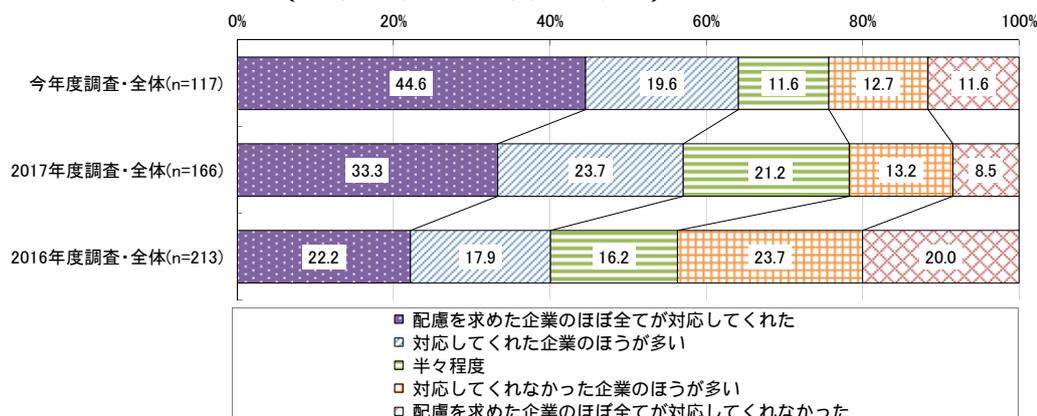
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ⁶⁷、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合は合わせて約 6 割となっている。過年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として教育実習と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答を合わせた割合は約 1 割となっている。過年度調査と比較すると、今年度調査ではこの割合が低くなっている。

図表 4-7-4 教育実習受講者が就職を希望した企業に対して面接日程について
配慮を求めたことがあったか（複数回答、大学 4 年生・大学院 2 年生）



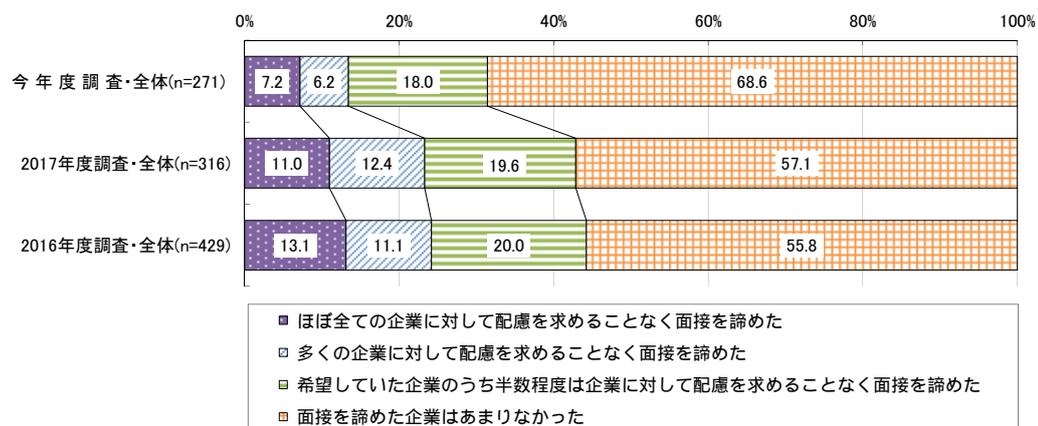
図表 4-7-5 教育実習受講者が配慮を求めた場合の企業の対応（自分から配慮を求めた場合）
（大学 4 年生・大学院 2 年生）



⁶⁶ 教育実習受講者に関する各設問について、「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した。なお、教育実習受講者に関する各設問について、2015 年度調査では実施していない。

⁶⁷ 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-7-6 教育実習受講者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況
(大学4年生・大学院2年生)



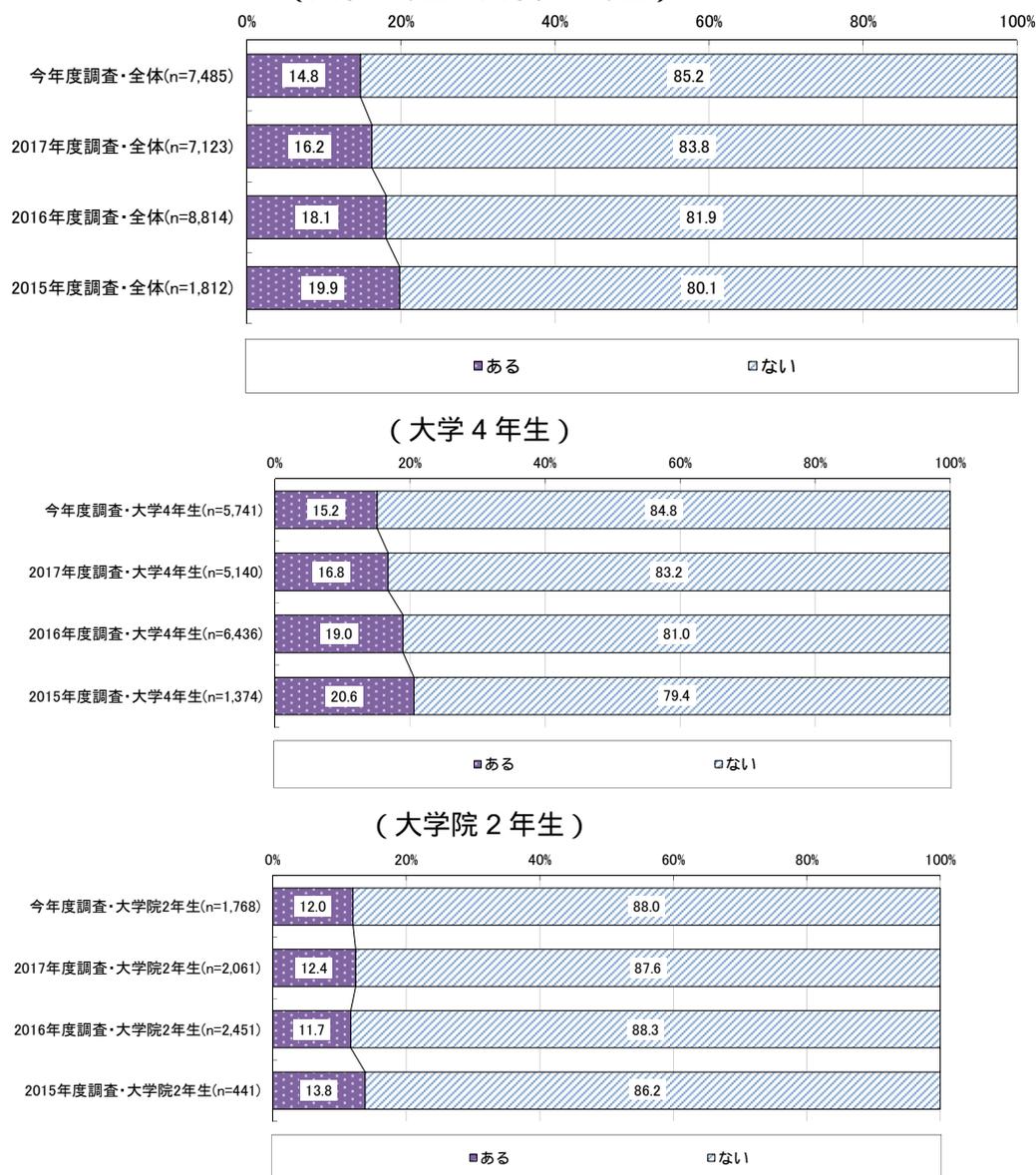
(8) ハラスメント的な行為の状況

ハラスメント的な行為の有無

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたことがあるかについて⁶⁸、約1割の者が「ある」と回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「ある」の回答割合が若干低くなっている。

図表 4-8-1 企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無
(大学4年生・大学院2年生)

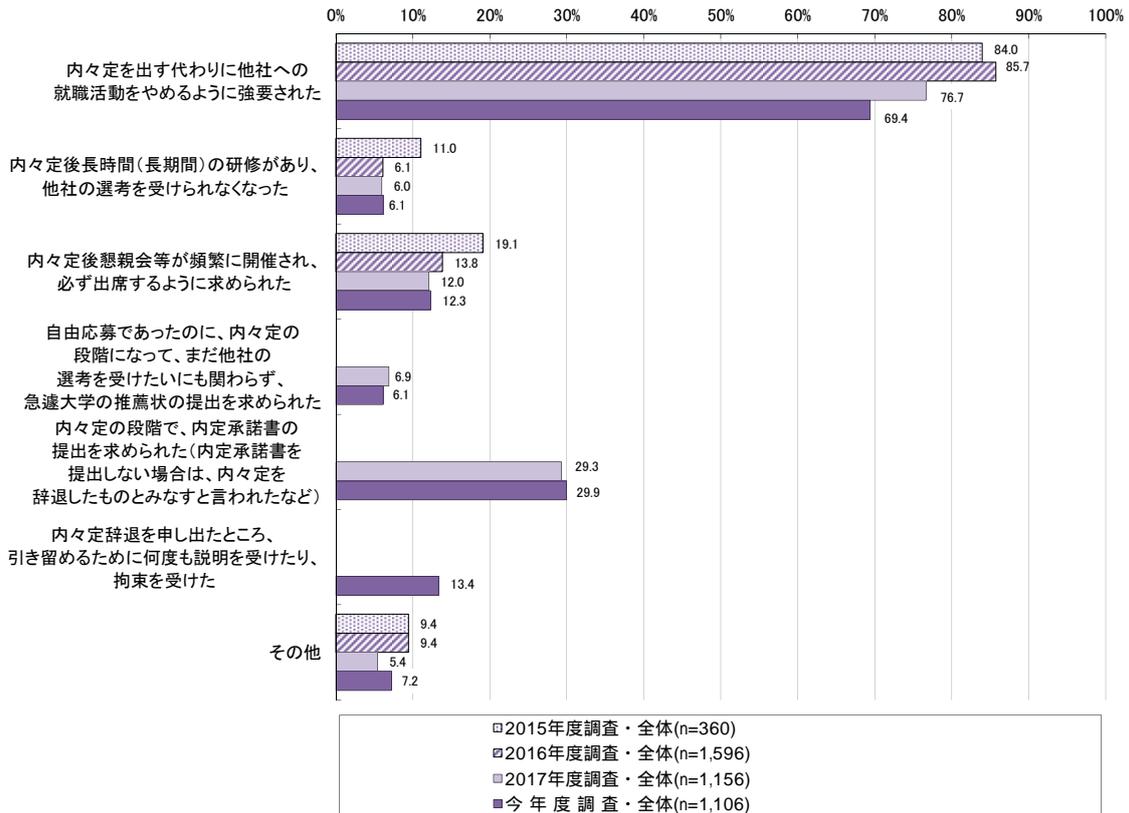


⁶⁸ 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

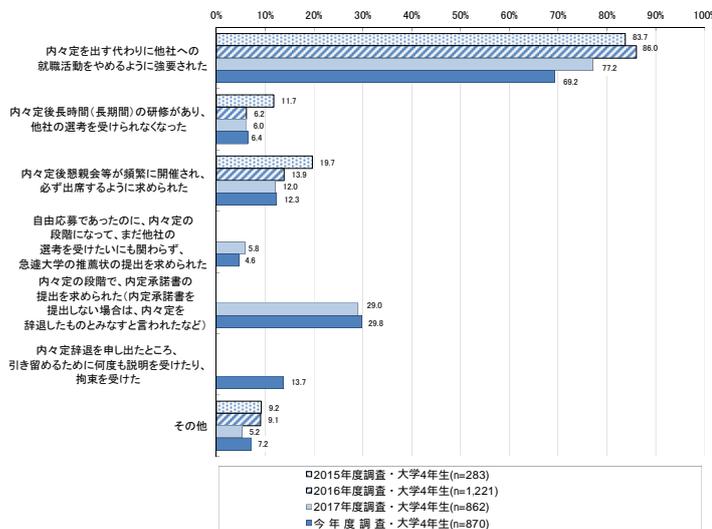
ハラスメント的な行為の内容

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたことがあると回答した者に関し、どのようなハラスメント的な行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の回答割合が約7割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約3割となっている。

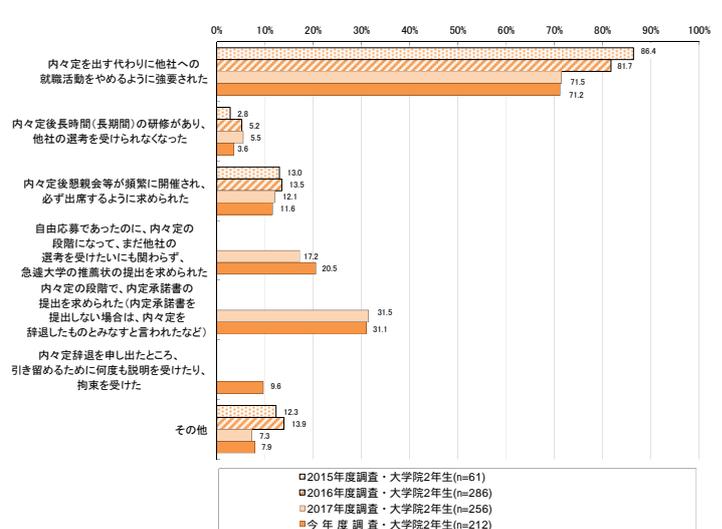
図表 4-8-2 企業から受けたハラスメント的な行為の内容（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



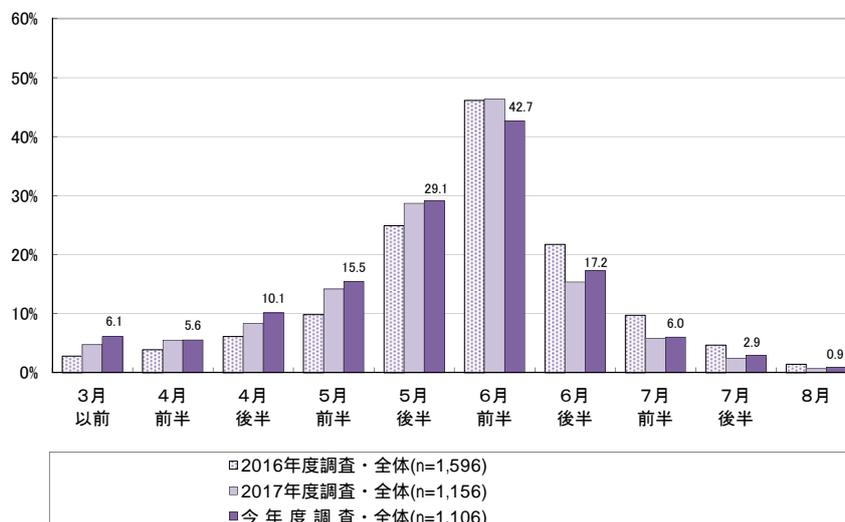
(大学院2年生)



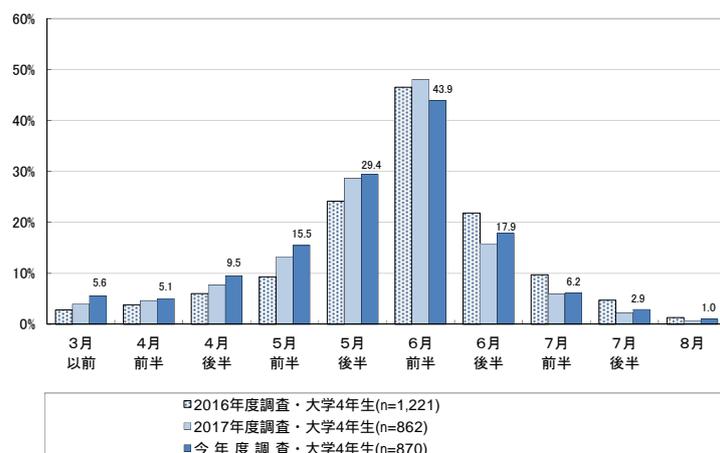
ハラスメント的な行為があった時期

ハラスメント的な行為を受けた時期について、「6月前半」の回答割合が約4割と最も高くなっている。これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている⁶⁹。

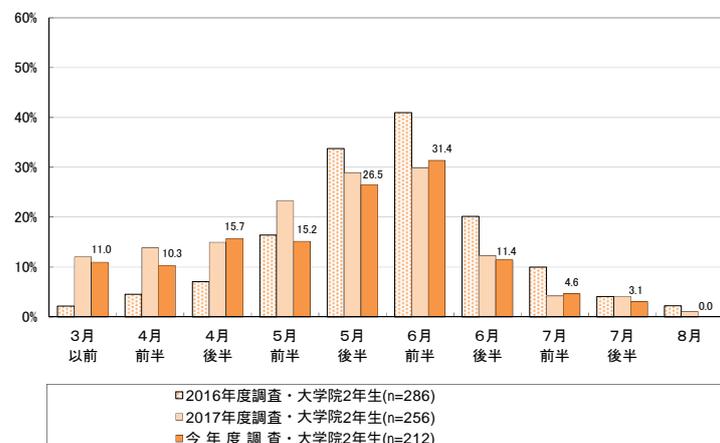
図表 4-8-3 企業からハラスメント的な行為を受けた時期（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）

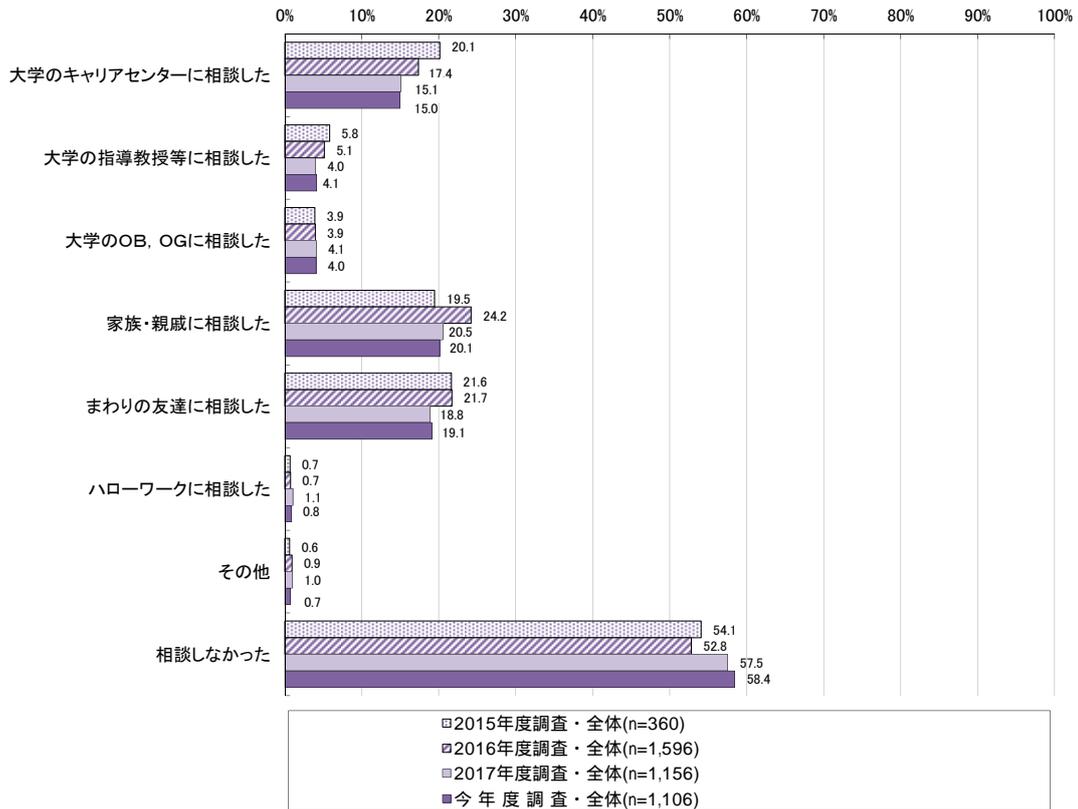


⁶⁹ 2015年度調査でもハラスメント的な行為を受けた時期に関する設問の調査をしているが、選択肢として設定している時期が他の年度の調査とは異なることから、ここでは比較の対象としなかった。

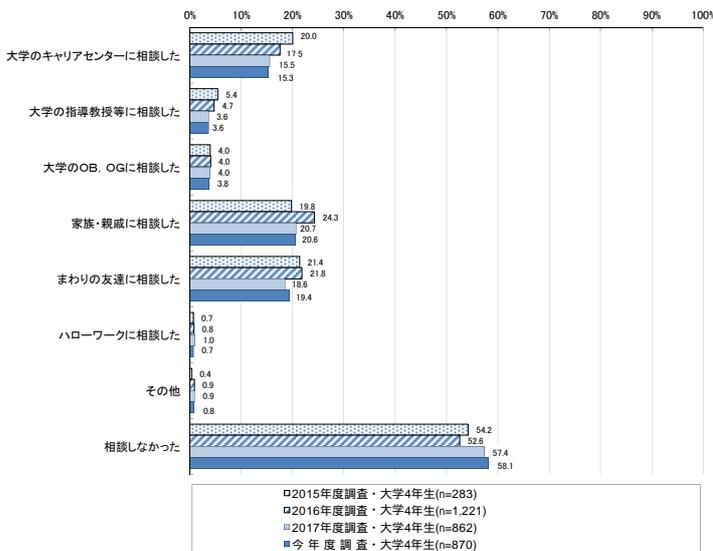
ハラスメント的な行為への対応

ハラスメント的な行為を受けた際の対応については、「相談しなかった」の回答割合が約 6 割と最も高くなっている。また、「家族・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」の回答がそれぞれ約 2 割となっている。これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

図表 4-8-4 企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）

